

城南家保ニュース Vol.21-12

熊本県城南家畜保健衛生所 平成22年 3月 発行

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/179/>

電話 0966-22-3814、FAX 0966-22-3617



家畜衛生伝達講習会が開催されました！

平成21年度家畜衛生伝達講習会が2月19日に熊本県庁で開催され、県内各家畜保健衛生所からこの年全国的に行われた各専門分野の講習・研修内容を広く伝達する行事とあって、会場には畜産関係者や製薬会社まで幅広い参加があり、活発な意見も聞かれました。

家畜衛生講習会

①牛疾病特殊講習会 天草家畜保健衛生所 主任技師 森 将臣
「牛の免疫と虚弱子牛症候群（WCS）について」

②豚疾病特殊講習会 天草家畜保健衛生所 技師 安田 航 「豚インフルエンザについて」

③獣疫疫学特殊講習会 阿蘇家畜保健衛生所 参事 川邊 久浩 「疫学統計処理の基本的な手法について」

家畜衛生研修会

① 病性鑑定・病理部門 中央家畜保健衛生所 主任技師 中村 理樹
「牛ネオスポラ症の症例等について」

② 病性鑑定・細菌部門 中央家畜保健衛生所 参事 山下 利治 「ヨーネ病の検査法等について」

③ 病性鑑定・ウイルス部門 中央家畜保健衛生所 主任技師 永江多樹子
「うずらの高病原性鳥インフルエンザの発生と牛白血病清浄化に向けた取り組みの一例について」

④ 病性鑑定・生化学部門 中央家畜保健衛生所 主任技師 高山秀子
「子牛下痢の発症時期がリーメン発育に及ぼす影響等について」

その他

①九州・山口沖縄病理事例研修会 中央家畜保健衛生所 主任技師 中村 理樹
「牛丘疹性口炎の症例等について」

特別講演

講師：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所
生産病研究チーム 主任研究員 菊 佳男 先生

テーマ：「抗生物質治療に替わる次世代乳房炎治療法の可能性」

～サイトカインによる乳房炎治療の現状と展望～

おしらせ！

平成5年に県内でオーエスキー病がはじめて確認されて以来15年余り経過し漸く清浄化（熊本県にオーエスキー病の豚がいない状態）に至りました。これまで長い歳月と畜産関係者の厚い努力の賜と感謝し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

知っ得コーナー

胸腺とは

免疫を掌る細胞（血液中の白血球：リンパ球）を主に生産し、人では胸腔内に位置し、思春期を迎える頃には消えて無くなる器官です。牛でも育成時期を過ぎれば消失しますが、牛の白血病（ここでは胸腺型白血病）に罹れば頸の胸腺が腫れます。現在にわかに脚光を浴びているのが、生後間もない子牛の胸腺の大きさがその後の発育に伴う抗病性に大きく影響していて、その原因は胎齢期の母牛の栄養状態にあることも解っています。